

2013年度第4回多摩デポ理事会

1 日時：2013年8月27日（火） 午後6時30分から午後9時00分まで

2 場所：国分寺労政会館第1和室（国分寺市南町3-22-10）

3 議決権のある理事：8名、出席理事：8名

出席者：座間直壯、平山恵三、清田義昭、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、堀渡、矢崎省三
（事務局：蓑田明子）

4 報告及び協議事項

（1）第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・8/27現在 正会員101名3団体 賛助会員45名1団体 計150名・団体
入会 正会員1名

（2）第2号議案 除籍予定蔵書の他自治体所蔵調査について【報告】

- ・東大和市立図書館から除籍予定資料の他自治体図書館での所蔵状況調査の依頼に応えた作業
7/19 図書館長から第一次依頼文書受取（1,000件） 7/25 第二次依頼文書受取（1,991件）
作業参加者 第一次 7人（会員・非会員3人、事務局4人）
第二次 10人（会員・非会員7人、事務局・理事3人）
7/30 第一次依頼分調査済データ返却
発見できた保存対象資料（多摩地域最後の1、2冊） 45冊
8/7 第二次依頼分調査済データ返却
発見できた保存対象資料（多摩地域最後の1、2冊） 102冊
- ・同市からの依頼に、検索対象資料の全量には応えられなかったが、一定のサポートをすることが出来た。
- ・7月7日から、多摩デポ ML で今回の検索ボランティアを募集したが、それだけでは会員からの反応は鈍かった。事務局から個別に依頼し作業者を確保した。こうした作業依頼が多摩デポに実際に入るのは予定が立てづらいつころだが、会員間の基本的な理解、依頼に即応できるボランティアの確保が課題である。
 - 多摩地域で他にもう1自治体だけが所蔵しているというデータはその自治体に伝わるのか。→ 現在はそういう仕組みにはなっていない。
 - ・都立の除籍図書を5万冊処理した際、館長協議会（以下館長会）で作った保存シールはどうなっているか。
 - 在庫は少ないはず。あのシールは見学者や利用者に保存のことを意識してもらうのに非常にインパクトがある。ぜひ館長会で継続して作ってもらいたい。
 - ・多摩地域の図書館で最後の2冊に該当する本に保存シールを貼付し、共同保存資料であることが明確になっていけば、多摩デポが構想している「バーチャル共同保存図書館構想（各図書館が所有する資料データを使いながら、仮想空間で情報を共有し、保存・廃棄を行うための仕組み）」の基礎資料群ができあがっていくのではないかと。
 - 全体ですぐに保存シールの貼付作業を行うのは難しいのではないかと。
 - ・館長会に問題提起をして、東大和市立図書館の了解の上で情報を提供し、5万冊処理のときのような動きを作り出せるとよい。

（3）第3号議案 図書館資料の里親探しについて【報告】

- ・東大和市の横断検索資料の里親探しを実施する。ほぼ確実に引き取り先があると思われるものだけを厳選して、東大和市に協力してもらい里親を募集する。（現在、2991件の中にあつた候補となりそうな49冊の資料の現物を東大和市の除籍の箱から引き抜いてもらっている）。

- ・職員が他市検索をした分にも他市で使ってもらえそうなものはあるか、調べてほしい、との依頼あり。現在、事務局員が調査中だが、約 60 件程度の見込みである。候補図書について、東大和市に抜き取りと汚破損等の状態を確認してもらい、その後里親募集を行う。
- ・多摩デポ事務所にある全集・参考図書の残りについては、秋以降に扱いを検討する。

(4) 第4号議案 共同保存実現のための検証会（学習会）【報告】

- ・現在の想定としては、理事・事務局レベルでの内部学習会という位置づけで、報告者にも廃棄・保存の実情をざっくりばらんに話してもらい、多摩地域の共同保存の見通しについて率直な議論を行ないたい。詳細は次回の事務局会議で詰める。開催時期：10 月後半～11 月。
- ・レポート内容：以前に西東京市が行った、各自治体の一冊本除籍時の点検状況の調査結果を読む、幾つかの市の一冊本除籍の実情や作業の流れ、リクエスト資料提供のための他自治体依存率変遷、各自治体の書庫のひっ迫度や東京都・館長会の動きなど
- ・報告者候補：西東京市、日野市、立川市、東大和市ほか、館長会会長の出席も求めたい
→ 報告事項ではなく協議する事項である、との意見も出たが、現時点での検討状況の報告ということで、次回理事会に日程、人選も含め協議事項として提案する。

(5) 第5号議案 多摩デポブックレットの発行について 【報告】

- ・7/25 担当が、けやき出版に出向き 8 号、9 号のブックレット発行の打合せ、表紙色（8 号：青、9 号：赤）を決定、入稿を始めた。
【8 号について】『電子書籍の特性と図書館』 堀越洋一郎著
7/25 けやき出版へデータ渡し。8/9 初校終了、8/28 再校渡し。50p、定価 600 円予定。
【9 号について】『被災資料救助から考える資料保存—東日本大震災後の釜石市での文書レスキューを中心に—』 青木睦著
入稿済み。引き続き著者と連絡をとり進める。
けやき出版での作業は 8 号を先行させるが、2 点同時発行。10 月中～下旬に発行予定。
- ・8/10 現在事務局在庫+2013 年 7 月末けやき出版在庫/印刷部数(けやき出版預け)
 - ① 41+51/1000(450) ② 122+41/1000(300) ③ 259+16/1400(300)
 - ④ 382+37/1200(300) ⑤ 191+51/1000(400) ⑥ 326+40/1000(450→400 に訂正)
 - ⑦ 460+184/1000(300)
- ※なお、2012 年度の通常総会におけるパネルディスカッションの記録・関連資料の作成は、2 冊のブックレット発行以降に取り組む予定。

(6) 第6号議案 ホームページの充実について【報告】

- ・新年度の改訂をした多摩デポパンフレットを載せた。
- ・東日本大震災後の 2011 年度全国図書館大会資料保存分科会で「多摩デポ」が発表した「長期的視点に立ったコレクション復興支援と地域資料の保存体制」という予稿集論文を掲載した。
- ・今後のコンテンツ豊富化等の方向性と段取りについて。(→継続課題だが、NPO の前史を含めた 10 年間の活動年表、会の考えや活動を記述した論文コンテンツの掲載、文献・マスコミ報道・論評一覧、等を考えたい)
 - ・とてもよくなった。サイドメニューが詳しいので、サイトマップはなくてもよい。
 - ・雑誌掲載論文は、原稿でなく著者、発行者の了解の上で掲載紙面を PDF 化するのが望ましい。
 - ・“関係者の論文”の範囲を広げ、多摩地域の図書館員などの「資料保存」「共同保存」に関する論文も収録してほしい。さらに、多摩地域に限らず、共同保存関係の文献は集めることにしてはどうか。そうすれば“共同保存のことを調べるなら、多摩デポ HP”となって

いくのでは？

- ・文献・マスコミ報道・論評一覧は優先的。一覧があればそこから広がる。
- ・ブックレットの書評も収録する。
- ・活動年表、活動日誌はなるべく早い時期に → 活動年表は作成中。今後は活動日誌報告のフォーマットを作り、担当者への連絡体制を作る。
- ・ホームページのアクセス解析は蓄積されれば役に立つのではないか。データが消える前に記録を残す。また有料の詳しい解析情報についても必要かどうか調査する。
- ・懸案事項については急がなくてよいが、役員の変更やイベント情報は速やかに更新をする。
- ・複数担当も考えつつ、担当者の負担が過重にならない範囲で充実をめざす。

(7) 多摩デポ講座について【報告・協議】

【第 17 回講座】「図書館はどのような本を所蔵しているか」

講師：大場博幸氏（文教大学）日時：7月17日（水）午後6時30分～9時

会場：国分寺労政会館 地下1F 第1会議室

参加者 17 人（正会員 14 人、会員外 3 人）

- ・参加は多くなかったが、充実した講演と活発な質疑、意見表明があった。夜の開催ではやや時間不足な気味もあり、講演内容の丁寧な読み込みが必要にも思えた。
- ・日本の公共図書館全体が結果としてカバーしている蔵書範囲・傾向の実態について、画期的な調査・研究であるようだ。職員やヘビーユーザーが手応えとして感じていた公共図書館全体の蔵書の「網羅性」のようなものが実証された、とも言える。またその調査方法も参考になる。このような実態把握から、ピントのあった図書館政策の提起が生まれるだろう。とりあえず講演内容を、工夫して詳しく会員へ報告していきたい。

【第 18 回講座】 見学会「市川房枝記念館図書室」

8月29日（木）2時～4時（新宿駅南口1時45分集合）見学科 300 円。

参加申し込みは、現在、事務局員含め 11 人だが、一般会員（市民）から、少人数だがいつもとは違う申し込みや反応が来ている。

【第 19 回講座】

長く日本図書館協会事務局長をされ最近退任された松岡要氏に「外から見た多摩デポ、公共図書館の共同保存図書館構想」について話してもらい講座を実施したい。開催時期は、全国図書館大会終了後の方が松岡氏に無理がないとすると、2014 年 1～2 月頃か。

→ いいタイミングでもあるので、ブックレット化も視野に入れて交渉を進める。

(8) 第 8 号議案 多摩デポ通信の発行について【報告・協議】

【第 27 号】7/28 印刷・発送を行なった。12 ページの充実したものになった。

【第 28 号】（発行 10 月下旬；この号は、会員には新刊のブックレット 2 冊を同封して送付予定）

第 18 回多摩デポ講座見学会見学記、映画「疎開した 40 万冊の図書」関連、東大和市横断検索報告、メーリングリスト連載、新ブックレット紹介、などか。

→ 日程、大まかな内容について了承。次回理事会には事務局から詳しい案を提示する。

(9) 情報交換

- ・第 16 回多摩デポ講座で取り上げた金高謙二監督の「疎開した 40 万冊の図書」リニューアル版完成上映会（8/15 日比谷図書文化館）のトークショーに座間理事長登壇、多摩デポの名称・活動の一端を知ってもらうことができた。またこの日に新刊発売された『疎開した 40 万冊の図書』金高謙二著 幻戯書房刊 では、p35 で、多摩デポについて言及があり、巻末には取材協力者として「座間直壯」および「NPO 法人共同保存図書館・多摩」が掲出されている。

- ・内閣府より「平成 25 年度 特定非営利活動法人に関する実態調査ご協力のお願い」が届いている。事務局で対応する。

6 その他

- ★ 次回の理事会 10月 1日 (火) 午後 6時半～ 場所未定
- ☆ 次回の事務局会議 9月 24日 (火) 午後 6時半～ 国分寺労政会館 第二和室

7 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、齊藤誠一理事と手嶋孝典理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2013年8月27日

議長

議事録署名人

議事録署名人